

2023

ANNUAL REPORT

年次報告書

JUNKO

Association

特定非営利活動法人 JUNKO Association 2023 年度 年次報告書

CONTENTS

VIETNAM

現地協力者とともに
より良い支援を模索

MYANMAR

今タンリン僧院学校に
必要な支援とは？

BUSINESS

物価高の中、値段交渉で
より安価に商品を買付ける



CONTENTS

目次



3 ABOUT US

4 HISTORY

VOICE 学生代表からのごあいさつ

6 INDEX

VOICE 社会人の声

8

VIETNAM

12

MYANMAR

VOICE ベトナム主任インタビュー
ミャンマー主任インタビュー

18

BUSSINESS

VOICE ビジネス主任インタビュー

22 DAILY

VOICE 管理部門主任ごあいさつ

23 DONATION

24 団体企業の皆様

25 会計資料



ABOUT US

どんな団体？



ベトナムやミャンマーに住む子どもたちの教育支援に
明治学院大学の学生が中心に取り組むNPO法人です

当法人は、ベトナム、ミャンマー、ビジネスの3つのプロジェクトから成り立っています。ベトナムおよびミャンマープロジェクトは、例年、年に2回現地を訪問し、教育支援・交流活動を行っています。

ビジネスプロジェクトは、ベトナムやミャンマーで買い付けた雑貨を日本に持ち帰り、学園祭、イベントなどで販売し、雑貨店に卸しています。ビジネスプロジェクトで得た収益金や寄附金は、ベトナムとミャンマーの子どもたちの教育支援のために使われるとともに、一部は当法人の運営資金となります。

また、各プロジェクトの活動に加え、広報会員部が日本国内においてSNSなどを用いて当団体の活動を広め、寄附をお願いする広報活動を行っています。

2023年度はベトナムへの短期派遣に加え、3年半ぶりのミャンマーへの派遣も実現しました。今後もベトナムとミャンマーの子どもたちのために、私たちができることを模索し続けながら活動を行っていきます。

Vision



子どもたちが成長し
活躍する社会を目指します

世界の子どもたちが人として十分に発達することで、彼ら自身が持つ潜在能力を将来において存分に発揮できる社会を目指します。

Mission



異文化理解の促進

日本の人々に開発途上国の実情や抱える諸問題を伝え、異文化理解や相互扶助に対する理解を促進する活動を実施します。

教育環境の創造

開発途上国の子どもたちがよりよい教育を受けられる環境を創造します。

視野を広げる

開発途上国の子どもたち自身の学ぼうとする力や意欲を引き出し、子どもたちの視野を広げるような支援活動を実施します。

Philosophy



教育の機会に恵まれない
子どもたちのために

世界の教育の機会に恵まれない子どもたちの成長(人間的な発達)を願って活動します。

学生の創造と実践の場

学生のこころざし・創造力・行動力を尊重し、活動を通して学生たちの能力や視野が広がることを期待しています。

HISTORY

沿革

JUNKO Association は一人の女子学生
高橋 淳子さんの想いから始まりました

1993年夏、当時大学3年生だった高橋淳子さんはベトナムを訪れ、将来は途上国の子どもたちの役に立ちたいという思いを持ちましたが、その冬に不慮の事故で急逝してしまいました。彼女は亡くなる前にこのような文章を残しています。

— 今の私には経済的に彼らの助けになることは出来ないが、ベトナムにいる友だちのためだけではなく途上国で生活する多くの人が健康的に暮らし、十分な教育を受けられるような体制を、援助という範囲だけでなくあらゆる面からサポートできるような、そしてそのように考えられる余裕のある人なり世界なりを創造していかなければならないと思う —

この思いを知った淳子さんのご両親、ゼミの先生、現地の人々などが協力し、1995年にベトナム中部のダナンにJUNKO Schoolが設立されました。同時に、ゼミの仲間や後輩によってJUNKO Schoolをはじめ、ベトナムの子どもたちの支援を目的としたJUNKO Associationも誕生しました。2007年には特定非営利活動法人（NPO法人）となり、現在はベトナムだけでなく、ミャンマーにも活動の領域を広げています。



1997

ベトナムプロジェクト開始

2001

ミャンマープロジェクト開始

1995

JUNKO Association 発足
ベトナムにJUNKO School 開校

1998

ビジネスプロジェクト開始

2020

JUNKO School 25周年
外務大臣表彰

学生代表ごあいさつ



今後の活動の核が見えた一年！

意気込み新たに
最適なアプローチができるよう
取り組みたい！

今年度、ベトナムプロジェクトはJUNKO School設立25周年を記念した式典の実施や、計7校の学校の子どもたちとの交流などを行いました。

ミャンマープロジェクトは、様々な協力者の方のサポートや学生メンバーの入念な準備のもと、NPO法人としては3年半振りにミャンマーに渡航することができました。この場をお借りして、現地協力者の皆様、OB、OGの皆様にご挨拶申し上げます。学校や協力者の方との関係の再構築だけでなく、他団体との新たな関係を持つこともできました。

ビジネスプロジェクトは、ベトナムでの市場の買い付けに加え、新たな試みとして工場にもアプローチしました。

私自身今年度はベトナムに2度渡航しました。学校内の目視調査や村の方への家庭訪問を通じて、新たに衛生環境の改善に向けた事業、子どもたちの保護者にアプローチした事業を立ち上げるなど、今後私たちが行うべき、核となる活動が見えた1年となりました。

現地に寄り添った支援を行うことは決して簡単なことではありません。学生の私たちがだからこそできることは何かを考え、学生が自分たちの目で現地を見た経験を大切に、現地に寄り添った支援ができるように全員で努力していきます。

今年度はコロナ禍が明け、より活動の幅が広がった一年でした。

ベトナムプロジェクトは、昨年度夏より短期派遣が再開しており、まずは関係の構築を目的としておりました。そして、今年度の春からはそれぞれの課題に対してアプローチし、企画実施ができるように一歩進みました。

ミャンマープロジェクトは、関係の構築、現地のニーズ調査、当法人から日本語教育の提案など、情勢を慎重に見ながらも、着実に支援が届けられるよう毎日考え続け、取り組みました。近年、ミャンマーに赴くこともできておらず、正直コロナ禍に入学してから先行きが見えづらい中で活動し、モチベーションを保ち続けることに難しさを感じるメンバーも多かったです。しかし現地への強い想いを胸に諦めずに取り組み続け、そのことが支援に繋がっています。現地に訪れたメンバーを中心に、プロジェクト全体が活気で満ちています。

ビジネスプロジェクトは、コロナ禍が明けイベントが増えたことから、積極的に外部イベントに出展し、当法人の広報もしながら利益を得られるよう取り組んできました。

当法人は学生が運営していることが大きな特徴です。毎年運営しているメンバーが変わり、その年の色が生まれます。今年は39名の一年生が加わりました。現地への強い想いをもち、積極的・能動的に動くメンバーが多いです。その想い、姿勢を保ちながら、よりプロジェクト間で協力していけるようお互いの理解を強めていくことが大切だと日々実感しています。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

JUNKO Association 学生代表

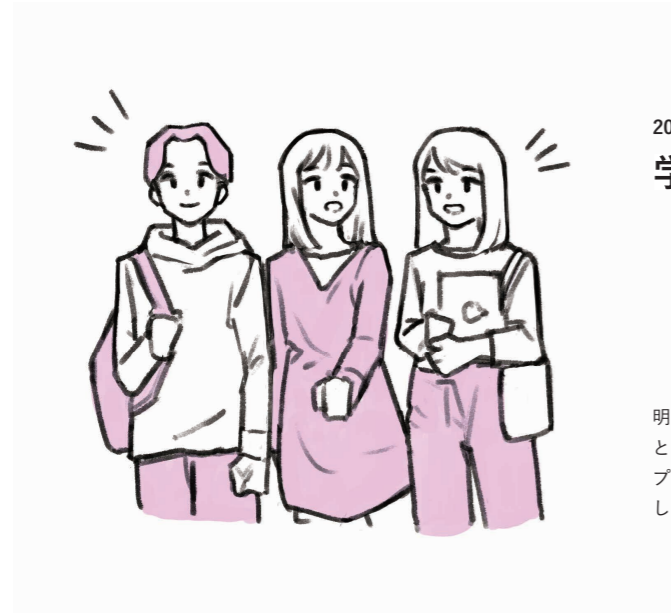
加藤 小春

JUNKO Association 学生副代表

神作 海希

INDEX 諸情報

現在の JUNKO Association

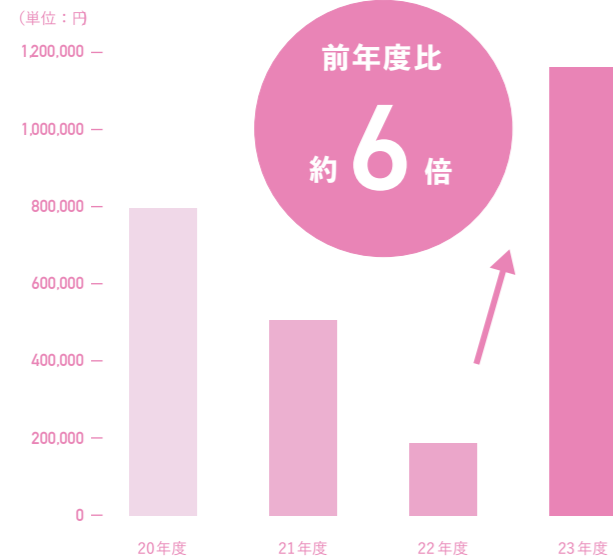


2023年度
学生会員数

81人

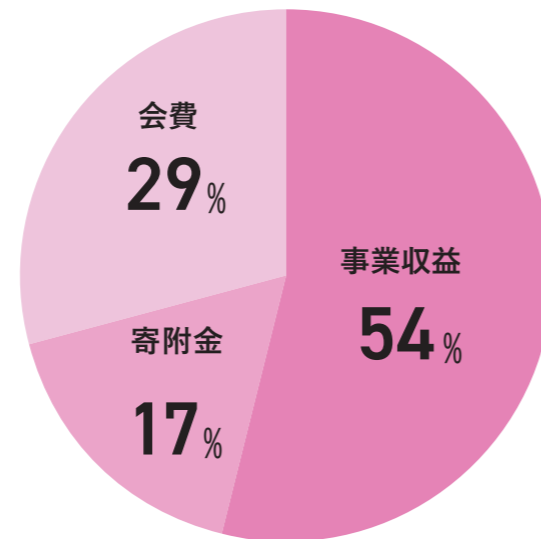
明治学院大学の学生が会員として参加し、それぞれのプロジェクト、部門で活動しています。

2023年度 ビジネス収益金額



コロナ禍が明け、22年度には186,880円まで低迷していた事業収益は23年度に1,104,363円まで回復しました。

2023年度 経常収益割合



23年度経常収益は2,064,632円でした。

AWARDS 受賞

2019 ミャンマー全国紙「The Mirror」に掲載
ベトナムのテレビ放送「VTV4」による取材

2020 かながわボランティア活動奨励賞受賞
令和2年度外務大臣表彰 受賞
第6回学生団体総選挙ボランティア
医療福祉部門グランプリ 受賞

2021 東京キワニスクラブ第36回 青少年教育賞優秀賞受賞

INTERVIEW VOICE

団体を支える 社会人の声

想いをむねに
設立30周年へ

待っている
ミャンマーの人々のため

2023年12月9日。この日、高橋淳子さんが早世してから30年を迎えました。淳子さんは私の1つ上の先輩だったこともあり、同世代の人が亡くなったこと、また彼女の考えに強い衝撃を受け、自分たちがつなげていかなければならないと思ったことを思い出しました。当時、できることは限られましたが、多くの方々のお力で、JUNKO School (JS) が開校しました。淳子さんが亡くなってわずか1年半後の1995年9月でした。

JUNKO Association (JA) は当初、このJSをサポートするために設立されましたが、近隣の子どもたち、ミャンマーにもその支援の輪を広げていきました。2023年の活動はコロナ禍が明け、ベトナムプロジェクトは活動を本格的にできるようになり、また、ミャンマープロジェクトは制限はあるものの、現地に行くことができました。両国で新たな芽が出そうな状況になってきました。引き続き、現地の子どもたちのために活動していきたいと思いを新たにしています。

今回のミャンマー訪問で初めて緬日協会 (MJA) に協力をいただき、ミャンマーの優秀な小中学生たちと日本文化のレクチャーを2日間に渡って出来ました。

長く付き合ってきたLetpadanのサポートファンドの方たち12名と会食ができ、支援金を渡すとともに、現地へのお土産も配ってもらえることが出来ました。情勢が変わるまで今はJUNKO Associationを待っていると聞きとても嬉しく思いました。

そしてタンリンの僧院学校は、生徒数が以前よりも増え校舎も新築されて意欲的です。

いまミャンマーでは、日本語学習の希望者がとても増えています。これからの交流や支援はかなり大変になるでしょうが、現地の人々とともに考えていけると思います。



理事長
小島 英太郎



副理事長
松岡 良樹

PROJECT
No.1

ベトナム プロジェクト

VIETNAM

設立来の支援を、現地チームと協力して続けていくこと



1 政府機関への訪問

ベトナムの政府機関を訪問し
お話を伺いました。

ベトナムの2つの活動地で、それぞれ地域のカウンターパートである政府機関を訪問しました。

Hiep Duc の人民委員会と教育訓練省の方とは、地区庁舎で当法人の事業計画やいままでの支援についての意見交換を行いました。また、レストランで夕食を共にする機会を得て、より関係が近づいたと感じています。文化や価値観の違いから、支援に対する考え方が異なることも多々ありますが、私たちが Hiep Duc を訪れた際にはいつも歓迎してくれます。

Dien Phuoc の人民委員会の方とは官庁舎でお話をしました。Dien Phuoc の人民委員長とは、高橋淳子記念石碑除幕式や Dien Phuoc の村人との交流などでもお会いする機会を得ました。そのため、私たちの名前を憶えてくださっていて、訪問の記念に花束までいただきました。25年以上続く JUNKO Association と Dien Phuoc のつながりの強固さを改めて実感しました。

両地域の政府機関に対しては、JUNKO Association の活動を理解し、時間を割いていただいたことに、とても感謝しています。



2 高橋淳子記念石碑

除幕式を行いました。

JUNKO School 創立 25 周年を記念して 2019 年から実施に向け準備してきた高橋淳子記念石碑の除幕式を行いました。JUNKO School で行われた式に参加し、学生のスピーチや日本領事館のスピーチ、高橋淳子さんのお父様である廣太郎さん、母校である吉祥女子高等学校からの言葉の代読に加え、学生から日本の歌を披露しました。全校生徒の前で私たちの想いを伝える貴重な機会となりました。

淳子さんの想いが 28 年間、JUNKO School の先生方を始め多くの人々に支えられて引き継がれ、ベトナムと日本を繋いできたことの大さを感じました。淳子さんが残した想いを受け継ぎ、私たちが日越の架け橋であり続けられるよう、交流を続けていきます。





3 現地協力者

互いを高め合える
最高のチームになりました。

現地協力者のフック氏とは、渡航前から何度もオンラインでのミーティングを重ね、実際の活動中も数多くのアドバイスをいただき、大変お世話になりました。アドバイスをいただいただけでなく、言語はもちろん、生活様式や文化が異なるベトナムでの生活を不自由なく送れるような手助けをしてくださいました。真面目な話だけでなく、楽しい話をして充実した時間を過ごすことができました。

そして、今回の渡航でもダナンジュンコによるサポートのもと、活動を行いました。ダナン空港に到着すると、初対面の新入生も暖かく迎え入れてくれ、活動を通してとても良い関係を築くことができました。彼らからより良い企画を実現するための意見をもらい、現地の子どもと触れ合う時に通訳をしてもらいました。

約1カ月という短い期間でしたが、活動以外にも様々な場面でコミュニケーションをとり、別れの時には、また春にベトナムで再会すること、子どもたちへベストな支援を行うことを約束しました。活動を通して、彼らはいつも私たちに心強い言葉をくれる温かい家族のような、互いを高め合える最高のチームメイトとなりました。また、彼らの活動に対する考えや姿勢は、私たち日本人メンバーにとって良い刺激となり、今後の活動に対する情熱が高まりました。



4 JUNKO Prize

子どもたちが新しいことに
挑戦する機会を。

JUNKO Prize は子どもたちが自らアイデアを考え、皆の前で発表する機会を与えることを目的とした企画です。2023年9月6日から9日にかけて行いました。実施学校は、Quang Nam 省 Dien Ban 県 Dien Phuoc 村にある、JUNKO 小学校、Nguyen Thanh Y 小学校、Tran Quy CAP 中学校、Hoang Dieu 高校です。

ベトナムでは、生徒が自主的に参加しにくい詰め込み型教育が主流です。そのためベトナムの子どたちにとってプレゼンの機会は、彼らの可能性を広げる意味があります。

小学校では漫画ドラえもん、のび太が困っている場面を設定し、子どもたち自身で「ひみつ道具」を考えてもらいました。自分が考えたひみつ道具の絵を書いて、堂々と発表している姿はとても素敵でした。

中学校と高校では、ベトナムのより良い未来を作るための商品を、開発者となって考えてもらいました。大人には思いつかないような、オリジナリティのある作品が数多く提出されました。

表彰は朝礼の時間を借り、全校生徒の前で行いました。額縁に入った賞状をもらった子どもたちが恥ずかしがりながら喜んでる姿は今でも強く印象に残っています。

今後は国際問題などのアカデミックな内容に子どもたちが触れられるよう題材を工夫し、実施する予定です。

5 衛生企画

掃除の大切さを伝えました。

子どもたちに掃除の大切さを伝えることと現地主導で掃除が行われることを目的として掃除に関する劇と実践を行いました。SongTra 村半寄宿舎中学校の男女合わせて60人を対象にして実施しました。前回の短期派遣での目視調査や意見交換などからトイレや手洗い場の衛生環境が整っていないことが分かり、今回の短期派遣から衛生企画を行うことになりました。劇は掃除の大切さを伝える内容にして小道具や効果音などを使用しながら楽しい劇になるように努めました。子どもたちは、クイズなどに積極的に参加してくれました。次に、掃除の伝授と実践では掃除用品や洗剤を寄附しそれらを使用しながら子どもたちと一緒に掃除を行いました。どちらも子どもたちが積極的に参加してくれ、非常に実りある交流になりました。

今後は、今回の企画と同様に掃除の伝授と実践、そして新たに性教育に関する企画を実施する予定です。



6 楽しい学校生活 (PSL) 企画

スポーツを楽しもう！

Hiep Duc 地域の対象校 (KPA Kolong 小学校本校、分校 1) では、子どもたちに学校生活を楽しくしてもらうことを目的にスポーツ大会を開催しました。子どもたちと一緒にドッチボールとボール運びのゲームを行い、チームごとに対戦しました。

子どもたちはもちろん、学生メンバーも楽しみながら交流をすることができ、笑顔と活気で溢れる交流になりました。

また、交流後はボールとノートを寄附しました。今後も子どもたちが学校生活を楽しくしながら、勉強に集中できるようにサポートしていきます。

情報 INFORMATION



Hiep Duc 地域

Song Tra 村
Phoc Gia 村
KPA Kolong 小学校本校
KPA Kolong 小学校分校 1
Song Tra 村民族半寄宿舎中学校

Dien Phuoc 地域

JUNKO School 小学校
Nguyen Tanh Y 小学校
Tran Quy CAP 中学校
Hoang Dieu 高校

プロジェクト
学生 **24**人

夏期学生
会員派遣
参加 **21**人

PROJECT
No.2

ミャンマープロジェクト

MYANMAR

タンリン僧院学校の支援をめぐる

1 タンリン僧院学校

タンリン僧院学校に 必要な支援とは？

今年度は3年半ぶりにミャンマーを訪れることができました。調査派遣前に会議でタンリン僧院学校（注1）での企画内容を検討しました。それは日本語講座の実施についてです。本企画は「日本語を使った就職を視野に入れた日本語教育を行ってほしい。」そんな現地からの要望に応えるため、検討を開始しました。講座以外にも日本文化紹介、ネイティブとコミュニケーションを取る機会を設ける予定です。これらは子どもたちに日本という国に親しみ、日本語を楽しんでもらいたいというねらいがあります。文化紹介では和食やお茶文化、音楽などを紹介することを決めました。ネイティブとのコミュニケーションについては今後の短期派遣時に実施したいと考えています。最後に、渡航に向けて調査リストの作成やカリキュラムの考案も行いました。現地協力者の方からもご意見やアドバイスをいただきました。

（注1）
正式名称は That Dhama Zaw Tika Yon Kyaun 僧院学校。
同学校は、エインダカ僧侶が運営する幼稚園と小中一貫の学校です。



互いの目指す先 「日本語教育」へ向けて。

まず、私たちは現在のニーズに沿った支援を行うためにタンリン僧院学校でミーティングを実施しました。ミーティングを通じて、校長であるエインダカ僧侶が「日本語を学び、日本で就職してほしい」という考えを持っていることが分かりました。この要望は以前から伺っていたのですが、具体的なビジョンが私たちと一致しているのか分からず企画を進める自信を持てずにいました。今回、就職を最終目標にしていることが分かり、同じ認識を持つことができて良かったです。共通認識を持つことと、そのためのコミュニケーションの重要性を私たち全員が感じました。

現在は使用予定の教科書や、文化紹介用の副教材をはじめとしたカリキュラムについて検討しています。現地の子どもたちに「日本という国や日本語は楽しい」と思ってもらえるように、そして彼らの将来に良い影響を与えられるように担当者一同、来年度以降も企画を進めていきます。

また、私たちは現在のニーズに沿った支援を行うためにタンリン僧院学校でミーティングを実施しました。ミーティングを通じて、校長であるエインダカ僧侶が「日本語を学び、日本で就職してほしい」という考えを持っていることが分かりました。この要望は以前から伺っていたのですが、具体的なビジョンが私たちと一致しているのか分からず企画を進める自信を持てずにいました。今回、就職を最終目標にしていることが分かり、同じ認識を持つことができて良かったです。共通認識を持つことと、そのためのコミュニケーションの重要性を私たち全員が感じました。

現在では使用予定の教科書や、文化紹介用の副教材をはじめとしたカリキュラムについて検討しています。現地の子どもたちに「日本という国や日本語は楽しい」と思ってもらえるように、そして彼らの将来に良い影響を与えられるように担当者一同、来年度以降も企画を進めていきます。

現在では使用予定の教科書や、文化紹介用の副教材をはじめとしたカリキュラムについて検討しています。現地の子どもたちに「日本という国や日本語は楽しい」と思ってもらえるように、そして彼らの将来に良い影響を与えられるように担当者一同、来年度以降も企画を進めていきます。



2 日緬学生交流の未来を議論

新たな関係を構築しました。

短期調査派遣ではミャンマー戦略国際問題研究所（Myanmar ISIS、以下 MISIS と記す）を訪問しました。MISIS は国際社会の動向について安全保障や経済、文化の観点から研究するシンクタンクです。国内外の機関と議論し、ミャンマーの将来を考えるだけでなく他国との関係構築の役割も担っています。

MISIS の訪問では将来における日緬の学生間の交流を促進するための議論をしました。彼らは学生間の国際交流に前向きで、日本はスポーツの種類が豊富でレベルが高いため、スポーツ交流ができればいいと考えていました。最後には活動への思いなどパーソナルな話をすることができました。

今回の派遣では現地での活動の幅が広がりました。現地で長年活動している当法人だからこそ、両国の学生の橋渡し役になれるのではないかと考えています。今後はこの関係を発展させられるよう派遣に参加できなかったメンバーにも情報を共有し、引き継ぎを丁寧に行っていきます。

また、短期調査派遣では Myanmar Japan Association (MJA) という現地の NGO 団体と新たな関係を構築することができました。現地の小中学生を対象として、伝統衣装や伝統音楽などを披露し、日緬の文化を通じた交流を行いました。ミャンマーの学生の声を直接受け取ることで、お互いの理解を深めることができました。今回築いた新たな繋がりを大切に、今後とも現地の声を教育支援事業や日本啓発事業へと活かしていきます。

3 ペンパル企画

日本の学生に
ミャンマーについて知る機会を。

日本国内への啓発活動として、提携校である川崎市立橋高等学校、横浜市立戸塚高等学校にて国際理解ワークショップを実施しました。ワークショップでは、ミャンマーを身近に感じてもらうために動画を視聴したり、ミャンマー雑貨等の紹介をしました。さらに、現地の教育事情を紹介し、日本との違いやミャンマーが抱える教育問題とその背景について考察してもらいました。考察の際には、現地で使用されている教科書を見てもらうことで、両国間の違いを肌で感じながら、学校で教科カリキュラムの観点も含めた様々な角度から教育課題について考えてもらうことができました。参加後の生徒からは、「今までミャンマーについて知る機会が少なかったですが、今回のワークショップを通して現地の文化や教育について、知識を深めることができました。」「日本からできる支援について模索し実行していきたいです。」という声をもらいました。さらに、横浜隼人高等学校の文化祭に当法人のブースを設置しました。

今年度に行った調査派遣を通じて現地の日本学校の学生と関係を構築できたため、本企画は来年度から文化交流企画の活動の一部になります。日本語学校の学生と交流するなど活動の幅も広がるため、様々な形でミャンマーと日本間の相互理解・文化交流を進めていきたいです。

3年半ぶりに降り立った現地で 私たちがしたこと。 高玉有実

今年度は3年半ぶりにNPO法人として現地へ行くことができ、プロジェクトとして大きなターニングポイントを迎えました。渡航前は現地の方との交流をオンライン上でしか行っていなかったため、メンバーは自分たちの考えている企画が机上の空論になってしまっているのではないかと考えていました。そのため、「短期調査派遣」として活動しました。連日多くの方にお目にかかり、お話しする中で課題やニーズを発見できました。同時に、自分たちの活動は小さな力ではあるものの現地の方々に希望を与えていると実感しました。だからこそ、企画を実現できるよう現地との連絡を密に行っていきたいと思います。また、今回の現地訪問で今まで当法人と関わりの無かった機関や団体とも新たに関係を築けた点はプロジェクトとして大きな進展といえます。現在、日本語学校の学生と日本の高校生との交流を行う話も挙がっています。



可能性を広げるために。

数日間の滞在ではありましたが、私の中でミャンマーに対する印象は大きく変わりました。渡航する前は情勢が悪く危険な国というイメージを持ち、私は心のどこかで彼らとの距離を感じていました。しかし、交流を通じて見えてきたのは、自分と同じように彼らにも実現したい夢があり、そのために日々頑張っているということでした。私たち一人ひとりに真摯に向き合ってください、ミャンマーには優しく、温かな方が多いと感じました。

ただ日本と違うのは、チャンスが少ないということです。このような状況を変え、彼らの可能性を広げるため活動していきたいと思っています。

最後に、派遣の実施に向けてご協力いただいた現地関係者の皆様、OBOGの方々に心より感謝申し上げます。企画の実現に向けてより一層取り組んで参ります。

情報 INFORMATION



Bago
Letpadan 地域

No.1 Basic Education
High School
Boys Training school
ハンターイエ僧院孤児院

Yangon
Tanlyn 地域

That Dhama Zaw Tika Yon
Kyaun 僧院学校



プロジェクト
学生

12 人



夏期調査派遣
参加

6 人



VIETNAM

Q ベトナムの好きなところは？

街の喧噪と風景が大好きです。ベトナム語の響きも好きです。活動でどんなに疲れてもエネルギーをもらえます。Tôi yêu Việt Nam.

家族のように親しみ溢れつつ、刺激も受けるような突き抜けたバイタリティ！



ベトナムプロジェクト
23年度主任

橋本珠実

ベトナムプロジェクト
24年度主任

高間結菜

Q 23年度の活動で嬉しかった事、やりがいを感じた瞬間はどんな時でしたか？

橋本珠実 私の名前を覚えてくれている人がいたことです。私がしっかり現地に向き合えた証なのかなと思って嬉しかったです。ベトナム国営テレビへの出演も忘れられない経験です。23年度は、コロナの影響で現地での活動のノウハウがない中で事業を再開しなければいけない、大変な期間でしたが、チームとして大きく前進させることができたと感じています。今後の活動の基盤は整えられたと思います。

高間結菜 子どもたちと会えた事が嬉しかったです！

皆と企画した活動を実施し、楽しんでくれている様子や笑顔を見るだけで準備過程で大変だったことが吹き飛びます！そして、活動後は次はこんなこと、あんなことをやったら面白いんじゃない？と常にアイデアが浮かんでいました！何が1番子どもたちにとって良いか悩み、調べて、聞いて、学び、考え、試行錯誤する分、実際に子どもたちと会って活動する時のやりがいが大きくなると思います！

Q 24年度はどんなプロジェクトにしていきたいですか？

橋本珠実 レベルアップをしてもらいたいです。

23年度は、短期派遣を復活させることができ、現地の基盤を整えられたと思います。私たちが作り上げたものを踏み台として、後輩たちにはレベルアップをしてもらいたいです。

高間結菜 楽しいプロジェクトにしたいです！

私は学生だからこそできる支援を行いたいと思います。短期派遣を通してわかったことをもっと深掘りしつつ、還元できるような学生の想像力を働かせて楽しいプロジェクトにしたいです。

Q JUNKO Associationだからこそできる支援はなんだと思いますか？

橋本珠実 子どもたちと近いことを強みにした支援です。

学生の私たちが企画をしたり、企画中に日本人メンバーとベトナム人メンバーが英語を使って話していたり、国籍が違う中でも協力している姿を見せること自体が、子どもたち自身に何かきっかけを与えられていると思います。

高間結菜 子どもに近い支援ができると思います。

ダナンジュンコも大学生だからこそ、お互いの国の共通点や相違点を知ることができ、それを活動に取り入れられることが私たちの学生ならではの活動だと思います。



MYANMAR

Q ミャンマーの好きなところは？

人の温かさです。

ミャンマーで出会った現地協力者の方や交流した学生、先生やお母さんたちまで、みんな明るく笑顔で、温かかったです。特にJUNKOの顧問として支えてくださっているティンモウさんは、家族の

国民性と温かさが大好きです！！

人と人との繋がりが重要視されるミャンマーにおいて、様々な人と出会えたことは、ミャンマー人の思いやりや優しさが実感できた貴重な時間となりました。



ミャンマープロジェクト
23年度主任

寺倉あい

ミャンマープロジェクト
24年度主任

古田夢歩

Q 派遣で得られた1番の成果はなんですか？

寺倉あい 現地協力者の方と人と人としての関係が築けたことです。

私は4年間コロナウイルスやミャンマーの政変の影響でなかなか現地に行けませんでした。今年度現地に行ったことで現地協力者の方との間に共通のエピソードが増え、ようやく人と人として話してきたと感じます。支援を行う上で彼らは必要不可欠な存在なので、実際に会って関係を築けたことが1番の成果だったと思います。

古田夢歩 現地を肌で感じ、支援の必要性を再確認したことです。

私は、JUNKO に入って初めての年で現地に行くことができたので今までの活動については良くも悪くも知らない状況でした。その上で、やはり支援の必要性を再確認できたことが良かったと思いました。支援の必要性を確認できてから、議論も進み、やりがいを感ずります。

Q 活動で心掛けていることはなんですか？

寺倉あい 若者にミャンマーを知ってほしいと思っています。ミャンマーのネガティブな情報しか流れていないから、近い年代でミャンマーが好きで活動している人がいるということを知ってもらい、ミャンマーのために何かしたいと思ってくれる人が現れたらいいなと思いながら活動しています。

古田夢歩 日本でできる支援を考えています。

ミャンマープロジェクトは現地に行ける回数が少ないからこそ、ペンパル企画など、日本でできることを考えて日々活動しています。なかでも振り返りが今の活動にどんどん繋がっていると思っています。

Q 24年度はどんなプロジェクトにしていきたいですか？

寺倉あい うまく連携をとって活動していきたいです。

他のプロジェクトや執行部とコミュニケーションを良く取って連携できるようになったらいいなと思います。

古田夢歩 誰1人欠けないプロジェクトにしたいです。

私はそれぞれが思っていることに気づけるリーダーになりたいです。メンバーがやっている意味ある？と感じることがないくらいメンバー1人1人がモチベーションを保てるようにしていきたいです。

PROJECT No.3

ビジネス プロジェクト

BUSINESS

伝統的な商品を現地で買い付け、販売しています



1 ビジネスプロジェクトとは

買い付け

ベトナム、ミャンマーの商品を現地で買い付けます。2023年度はベトナム夏期学生会員派遣で、ハノイ、ダナン、ホーチミンの市場で買い付けをしました。

販売

買い付けた商品は協力店に商品を卸している他、JUNKO Storeでのネット販売、イベント出店による販売を行っています。



2 協力店事業

国内7つの販売協力店

現在は7つの販売協力店と取引があります。顧客層やお店のコンセプトに合った商品の提案を積極的に行い、収益の獲得に繋がっていきます。



Point Weather

網島にある「横浜の旅」をコンセプトにしたカフェです。店内はともおしゃれで非常を味わえます。主にシェル Spoonを販売いただいています。

神奈川県横浜市港北区網島西 1-14-18



デザインフィル

「旅するように毎日過ごすための道具」をテーマにした雑貨を展開するお店です。主に、トラベラーズノートに添えるミャンマーのシェルボタンを販売していただいています。

東京都渋谷区恵比寿 1-19-19 恵比寿ビジネスタワー9F



パパパテオ

大船にある完全予約制の「アジア料理」のお店です。現地で学んだ本物の味を、素敵な店主の方が全て手作りで出されています。販売委託店として約20年前からお付き合いいただいています。

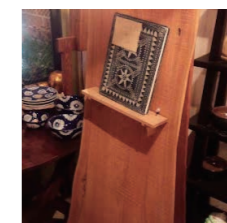
神奈川県鎌倉市小町 1-6-2 田口ビル2F



CLASKA

日本の暮らしに映えるアイテムを集めたライフスタイルショップです。主にシェルカトラリーを販売していただいています。

東京都目黒区中央町 1-3-18



ぼれやあれ

高円寺にある雑貨カフェです。落ち着いたカフェで、常連さんたちで賑わっています。主にバチャン焼きを販売していただいています。

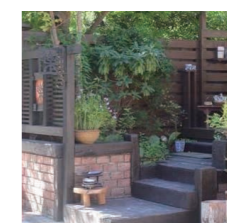
東京都杉並区高円寺南 3-44-16



フランス

静岡にある日々の生活に寄り添った洋食店。JUNKO Association OGが働いており、コラボを通して認知度を高めるお手伝いをいただいています。

静岡県静岡市葵区七間町 1-1 2F



RAKU

鎌倉の「器と雑貨」のお店です。食器や雑貨など「毎日の暮らしを楽しむ」魅力的な商品が揃っており、主にミャンマーのシェル商品を販売いただいています。

神奈川県鎌倉市浄明寺 2-2-2

3 イベント出店

白金祭 2022.11.1-11.3 明治学院大学

JUNKO Association のブースには、本学の学生だけでなく、OBOGの方や他大の学生も来ていただき、220,562円を売り上げることが出来ました。主な客層としては、主婦の方が多く、刺繍巾着や刺繍財布などの布の商品がよく売れた印象です。

さくら祭 2023.3.26 グランフォーレ戸塚

このイベントは例年、JUNKO Associationとして出展していましたが、コロナウイルスの影響により開催できない状況が続いていました。今回、数年ぶりの開催で集客・売上は上手くいきましたが、主宰した地域の方との関係を深めるといった点でビジネスプロジェクトとして良い経験になったと思います。



4 ベトナム派遣

今回の買い付けでは、全体を通して物価が高騰しており、価格交渉に苦労しました。また、製造を終了している製品もあり、その代替製品を探すことにも苦労しました。そのような厳しい環境下でも、関係者皆様のご協力のおかげで無事活動を終えることができました。ありがとうございました。

ハノイ バチャン村・ドンスアン市場 シェル工場

バチャン村ではガラスプレスレットとバチャン焼きプレスレットを買付ました。バチャン焼きプレスレットは今回の短期で初めて買付した新商品です。ドンスアン市場では雑貨類をメインに買付を行いました。なかでも、この市場で買付しているトンボという玩具は子どもたちに人気の商品となっています。シェル工場では、新製品の開発およびその試作品の製造に関して協議に行きました。シェル製品は協力店の方たちに評判が良い商品のため、工場の方と長時間にわたって交渉をしました。

ホーチミン ベンタイン市場・アンドン市場 タンディン

ベンタイン市場では花金プレス（地が金色の花柄プレスレット）や刺繍巾着、チャム族キーホルダーの買付を行いました。花金プレスは白金祭で定評の商品なので、うまく買付が行えてよかったです。アンドン市場ではココナッツお椀を買付ました。例年より価格が高騰しており、価格交渉に苦労しました。タンディンではモダンなデザインの陶器を買付ました。この製品は協力店の方たちに新製品として卸せないか提案していく予定です。



ダナン ホアリー・ハン市場・コン市

ホアリーは日本人の方が経営しているベトナム雑貨のお店で、JUNKOとは長い間お付き合いいただいています。品質が良いものばかりが並んでおり、安心して買付を行うことができます。今回はリメイクポーチやリメイクペンケース等を買付しました。ハン市場とコン市場では、めぼしい商品が見当たらなかったため、調査のみ行い買付は行いませんでした。

情報 INFORMATION

プロジェクト 14人
学生

INTERVIEW VOICE

ビジネスプロジェクト 主インタビュー BUSINESS

これからも暖かく見守って
支援してほしいです！

足を運んでくださっていること
に本当に感謝しています！



ビジネスプロジェクト
24年度主任

窪田葵

ビジネスプロジェクト
23年度主任

飯見來未

Q 現地で買付をする際に意識していること
心がけていることはありますか？

飯見來未 値段を慎重に確認します。

市場内で同じ商品を扱っているブースがあるため、すぐに見つけたお店で買うのではなく、いくつか店舗をまわり、値段を比べた上で買付しています。

日本にいる顧客が欲しいものかを考えて買付けたり、協力店

窪田葵 できる限り安価に卸すため、値下げ交渉をしました。

物価上昇を考慮し、値下げのレベル感を考えながら、買付けるのが難しかったです。私たちの希望価格よりも高い場合もありましたが、お店の方の許容範囲で値下げ交渉をして商品を買付けました。

Q どのような時にやりがいを感じますか？

飯見來未 イベントに出店した時にお客さんから活動に関する声を聞いた時に感じます。

窪田葵 イベント出店時にお客さんと話せることです。

現地プロジェクトでの企画に参加するときに、自分たちの売り上げたお金がJUNKOを支えているんだと感じます。

DAILY

普段の活動

会議を行っています。

派遣に際した支援の内容や、会計に関する会議などを行っています。実際に集まって会議をすることもあれば、ZOOMでオンライン会議をする場合もあります。



INTERVIEW VOICE

管理部門ごあいさつ

裏方として 組織を支える

会計部主任としての仕事は思うようにはいかず、常に業務の事で苦慮していました。

任期が終わった今、JUNKOに関わる多くの人に支えられていたことを改めて実感しています。

私は今まで自身を成長させてくれたJUNKOの活動を、裏方として支えることができたときにやりがいを感じました。特にそれぞれのプロジェクトの力を十分発揮できるような次年度の予算組みができたと思っています。

また、会計部は基盤を構築し、体制を整えることが必要となっています。任期は終わりましたが、今後も当法人のより良い組織運営を目指して活動していきたいと思っています。



会計部主任
23年度主任

加藤 久美子

SNS・メディア の活用

2023年度は、マスメディアやSNS、ホームページなどを最大限活用し、より多くの人に活動を知ってもらい、ファンになってもらうことを目標に広報活動を行いました。中でも、テレビやインターネットでは分からない、現地の現状をありのまま伝えるように意識しました。

広報会員部主任として活動していると、本当に多くの人が当法人を支えてくださっていることを実感することが多くありました。当法人を支え、応援してくださりありがとうございます。今後も当法人の活動は発展していきます。私たちの想い、現地の方や支援してくださる皆様の想いを今後も大切にしていきたいと思っています。



広報会員部主任
23年度主任

藤本 寛太

法人業務を 学生主体で行う

総務部は、JUNKO Associationが「子どもたちのため」を一番に考えられる組織で在り続けるために、法人業務や短期派遣の準備など、様々な面から組織を守る部署です。

昨年度は、課題であった法人業務の学生運営の基盤作りに注力してきました。マニュアルの作成や法人業務勉強会などを行い、学生中心で業務を行う第一歩を踏み出すことができました。総務部主任として、より良い組織運営の体制作りができたことにやりがいを感じています。

メンバーや理事、会員の皆様をはじめとする様々な方に支えられながら活動を続けることができました。本当にありがとうございます！



総務部主任
23年度主任

菅村 紗英里

DONATION

寄附のお願い

Syncable で寄附

直接寄附

「Syncable」を通した寄附を受け付けております。QRコードを読み取り、ご自身のSyncableのアカウントを作成していただき、「寄付する」ボタンのクリックをお願い致します。

決済方法 クレジットカード決済または銀行振込
Syncable <https://syncable.biz/associate/JUNK>



郵便振込

トクビ) ジュンコアソシエーション
口座番号: 00230-9-8995

銀行振込

ゆうちょ銀行 029 支店 当座: 0008995
トクビ) ジュンコアソシエーション

※お振り込みの際に手数料がかかりますのでご了承ください。
※ご寄附の際にはお名前をご明記ください。

会員になる

社会人正会員
5,000円

賛助会員
5,000円以上

JUNKO Associationは継続的にご支援いただける方を常時募集しております。会員様には以下の2つの特典がございます。

- ①年度活動報告書を発行 ②年2回、機関誌『TIMES』を発行
- ③公式LINEによる会員限定の情報発信

JUNKOを支えてくださった

団体・企業の皆様

ベトナム社会主義共和国

Quang Nam 省
 Quang Nam 省教育事務所 (DOET) / Quang Nam 省奨学会 (LEA) / Quang Nam 省 Dien Ban 郡 Dien Phuoc 村 / Dien Ban 郡奨学会 (LEA) / Dien Phuoc 村 People Committee / JUNKO 小学校 / Nguyen Thanh Y 小学校 / Tran Quy CAP 中学校 / Hoang Dieu 高等学校

Quang Nam 省 Hiep Duc 県 Song Tra 社
 Song Tra 村民族半寄宿舎中学校

Quang Nam 省 Hiep Duc 県 Phuoc Gia 社 Phuoc Gia 村
 People Committee / KPA Kolong 小学校本校 / KPA kolong school

支援団体・個人

かながわボランティア活動推進基金 21 / NPO 法人もったない
 ジャパン / 社会福祉法人救世軍 / 株式会社 JOBIA / 荒井枝美
 税理士事務所 / 明治学院大学ボランティアセンター / 明治学
 院大学校友会 / 明治学院大学学生部 / 高橋廣太郎 / 小林きみ
 よ / 三浦真知子 / JUNKO Association 学生メンバー保証人・
 同 OBOG
 株式会社三和製作所 / 朝日新聞社

交流学校名

私立吉祥女子中学校・高等学校 / 川崎市立橋高等学校 / 私立
 横浜隼人高等学校 / 多摩大学付属聖ヶ丘中学校・高等学校 /
 横浜市立横浜 商業高等学校 / 横浜市立戸塚高等学校 / 横浜市
 立みなと総合高等学校

ミャンマー連邦共和国

YANGON 管区 Thanlyn Township
 That Dahma Zaw Tika Kyaun 僧院学校

Bago 管区 Letpadan Township
 Letpadan No.1 Basic Education High School /
 Boys Training School / Hanther Aye 僧院孤児院

その他
 Yangon University of Foreign Language 日本語学科 / ミャン
 マー連邦共和国教育省 / Bago 管区教育事務所 J-Compass

協力者
 Dr.They Lwin (Myanmar-Japan Association 事務局長)

現地協力者

Nguyen Van Phuoc 氏 (ベトナム)
 Danang Youth Volunteer Group (ベトナム)
 U Tin Maung Oo 氏 (ミャンマー)
 Letpadan Support Fund (ミャンマー)
 JUNKO Japan-Myanmar Scholarship Foundation (ミャンマー)
 江橋正彦教授 (ミャンマー)
 渡邊拓也 (ミャンマー)
 郡司義貴氏 (ミャンマー)
 島津夕季 (ミャンマー)
 渡邊晃仁 (ミャンマー)
 HOA LY Danang (ビジネス)

販売協力

グランフォーレ戸塚管理組合 / 株式会社クラスカ / パパテオ / ぼれやあ
 れ / RAKU / 株式会社デザインフィル / Point Weather / レストランフ
 ランセ

活動計算書

特定非営利活動法人
 JUNKO Association

2022年11月1日から2023年10月31日まで

(単位:円)

科 目	金	額
I 経常収益		
1. 受取会費		600,000
正会員及び賛助会員受取会費		
2. 受取寄付金		360,210
受取寄附金		
3. 受取助成金等		0
受取助成金		
4. 事業収益		0
(1) 教育支援・文化交流・派遣事業	0	
(2) 国内啓発事業	0	
(3) 雑貨買付・国内販売事業	1,104,363	1,104,363
5. その他収益		59
(1) 受取利息	52	
(2) 雑収益	7	
経常収益計		2,064,632
II 経常費用		
1. 事業費		0
(1) 人件費		
人件費	0	
(2) その他経費		
売上原価	544,004	
諸謝金	133,593	
通信運搬費	29,752	
印刷製本費	71,129	
旅費交通費	54,737	
消耗品費	12,705	
地代家賃	185,345	
出店費	19,000	
会場費	600	
支払助成金	444,219	
支払寄付金	1,306,994	
現地交流費	109,259	
試作品費	61,044	
租税公課	△ 2,005	
支払手数料	19,987	
為替差損	12,750	
その他経費計	3,003,113	
事業費計		3,003,113
2. 管理費		0
(1) 人件費		
人件費	0	
(2) その他経費		
通信運搬費	1,480	
旅費交通費	0	
消耗品費	5,167	
会場費	7,140	
諸会費	30,000	
支払報酬料	220,000	
支払手数料	4,499	
その他経費計	268,286	
管理費計		268,286
経常費用計		3,271,399
当期経常増減額		△ 1,206,767
III 経常外収益		
1. 雑益		50,000
経常外収益計		50,000
IV 経常外費用		
1. 雑損失		123,875
経常外費用計		123,875
税引前当期正味財産増減額		△ 1,280,642
法人税・住民税及び事業税		71,300
当期正味財産増減額		△ 1,351,942
前期繰越正味財産		7,826,745
次期繰越正味財産		6,474,803

貸借対照表

2023年10月31日現在

特定非営利活動法人
 JUNKO Association

(単位:円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	5,789,473	
商品	511,672	
貯蔵品	83,520	
立替金	49,470	
前払費用	21,165	
短期貸付金	328,000	
未収入金	2,012	
仮払金	20,000	
流動資産合計		6,805,312
2. 投資その他の資産		
差入保証金	12,000	
投資その他の資産合計		12,000
資産合計		6,817,312
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	7,125	
未払法人税等	71,300	
預り金	264,084	
流動負債合計		342,509
負債合計		342,509
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		7,826,745
当期正味財産増減額		△ 1,351,942
正味財産合計		6,474,803
負債及び正味財産合計		6,817,312

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO会計基準協議会）によっています。

- (1) 棚卸資産の評価
商品は原価法により評価しています。
貯蔵品（受け入れ寄付物品等）は時価により評価しています。
- (2) 消費税等の会計処理
消費税は税込経理によっています。

2. 使途が制約された寄付金等の状況

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
タンリン備院学校寄付金	0	5,160	5,160	0	使途制約のない寄付金を含め、54,770円をタンリン備院学校へ助成しました。
JUNKO像建設寄付金	92,468	1,000	93,468	0	使途制約のない寄付金を含めた寄付総額837,053円によりJUNKO像は完成し、2023年2月に除幕式を行いました。

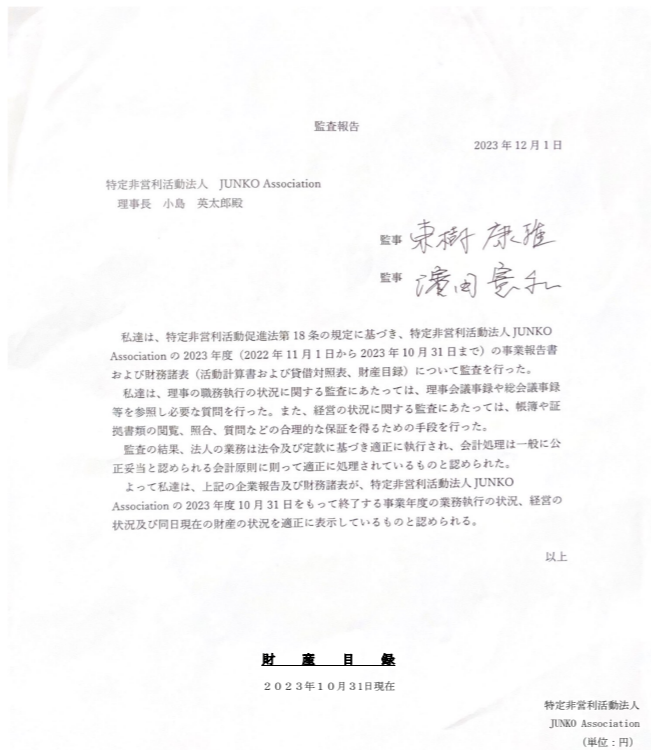
3. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位：円)

科 目	教育支援・文化交流・学生会員派遣 (開発教育)	国内啓発 (開発教育)	雑貨買付・国内販売	事業部門計	管理部門	合 計
I 経常収益						
1 受取会費						
正会員・学生		405,000		405,000		405,000
正会員・社会人		110,000		110,000		110,000
賛助会員		85,000		85,000		85,000
2 受取寄付金						
受取寄附金		360,210		360,210		360,210
3 受取助成金等						
受取助成金				0		0
4 事業収益						
イベント・小売販売			357,274	357,274		357,274
卸売販売			724,979	724,979		724,979
委託販売			15,000	15,000		15,000
ネット販売			7,110	7,110		7,110
5 その他収益						
受取利息			52	52		52
為替差益				0		0
雑収益			7	7		7
経常収益計	0	960,210	1,104,422	2,064,632	0	2,064,632
II 経常費用						
売上原価			544,004	544,004		544,004
諸謝金	133,593			133,593		133,593
経費交通費	30,842		23,895	54,737		54,737
通信運搬費	0	27,749	2,003	29,752	1,480	31,232
印刷製本費	8,402	61,227	1,500	71,129		71,129
消耗品費	6,103		6,602	12,705	5,167	17,872
地代家賃			185,345	185,345		185,345
出店費			19,000	19,000		19,000
会場費			600	600	7,140	7,740
支払助成金	444,219			444,219		444,219
支払寄附金	1,306,994			1,306,994		1,306,994
現地交流費	109,259			109,259		109,259
支払報酬料				0	220,000	220,000
試作品費			61,044	61,044		61,044
租税公課			△ 2,005	△ 2,005		△ 2,005
諸会費				0	30,000	30,000
支払手数料	660	17,412	1,915	19,987	4,499	24,486
為替差損	6,375		6,375	12,750		12,750
雑費				0		0
経常費用計	2,046,447	106,388	850,278	3,003,113	268,286	3,271,399
当期経常増減額	△ 2,046,447	853,822	254,144	△ 938,481	△ 268,286	△ 1,206,767
III 経常外収益						
1 雑益					50,000	50,000
経常外収益計	0	0	0	0	50,000	50,000
IV 経常外費用						
1 雑損失		123,875		123,875		123,875
経常外費用計	0	123,875	0	123,875	0	123,875
税引前当期正味財産増減額	△ 2,046,447	729,947	254,144	△ 1,062,356	△ 268,286	△ 1,280,642
法人税・住民税及び事業税			71,300	71,300		71,300
当期正味財産増減額	△ 2,046,447	729,947	182,844	△ 1,133,656	△ 268,286	△ 1,351,942

定款上の「教育支援事業」「文化交流事業」「学生会員派遣事業」は、日本国外において事業活動を行うことから、これらをまとめて「教育支援・文化交流・学生会員派遣」として表示しています。



科 目	金 額	備 考
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
手許現金 (円)	30,259	
手許現金 (アメリカドル) USD 300.00 (為替レート149.51円)	44,853	
手許現金 (ベトナムドン) VND 6,911,400 (為替レート0.006167円)	42,622	
手許現金 (ミャンマーチャット) MMK 418,148 (為替レート0.07216円)	30,173	
普通預金 三菱UFJ銀行戸塚支店	4,617,631	
普通預金 三菱UFJ銀行戸塚支店 (緊急時積立口座)	202,000	
郵便振替口座 ゆうちょ銀行 (たかじん基金)	821,935	
商品		
食器等 (倉庫管理品)	311,669	
小物類 (倉庫管理品)	38,399	
布製品 (倉庫管理品)	24,031	
アクセサリー (倉庫管理品)	41,293	
メッセージカード (倉庫管理品)	96,280	
その他	0	
貯蔵品		
寄付物品 (子供服150着他)	83,520	
立替金		
海外旅行保険料 立替	49,470	
短期貸付金		
ミャンマー派遣現地医療費	328,000	
前払費用		
前払家賃 倉庫賃借料11月分	21,165	
未収入金		
未収寄付消費税額	2,012	
仮払金		
おつり用小口現金未精算	20,000	
流動資産合計	6,805,312	
2 投資その他の資産		
差入保証金		
倉庫賃借契約	12,000	
投資その他の資産合計	12,000	
資産合計	6,817,312	
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
立替交通費	7,125	
未払法人税等		
法人税及び住民税	71,300	
預り金		
春・夏短期派遣時の緊急時預積立金	260,000	
源泉所得税	4,084	
流動負債合計	342,509	
負債合計	342,509	
正味財産	6,474,803	

2023 Annual Report

JUNKO Association

理事・幹事・顧問

- 理事長 小島英太郎
- 副理事長 林公則 松岡良樹
- 専務理事 加藤小春
- 理事 黒滝颯一郎 原夢伽 長澤弘樹 石坂清太郎
- 学生理事 赤根夏実 後藤すずか 栗原小和
- 監事 東樹康雅 濱田憲和
- 顧問 江橋正彦・U Tin Maung Oo

広報会員部

- 藤本寛太
- 鈴木かれん
- 四ノ宮悠良来
- 田中季実恵
- 長橋春希
- 羽切英里

編集・デザイン

- 編集責任者 小島英太郎
- デザイン 小島悠太郎

法人事務所

〒248-0014
神奈川県鎌倉市比ガ浜 3-7-3
TEL : 0467-23-6660
MAIL : junko.association.sr@gmail.com

学生連絡先

〒224-8539
神奈川県横浜市戸塚区上倉田町 1518
明治学院大学 学生部 気付
公認団体 明治学院大学 JUNKO Association



INSTAGRAM



WEB



STORE

